

2. 専門部会第二次研究協議会での交流




(1) 専門部会第二次研究協議会での交流内容

<低学年授業実践>

① 授業公開の様子

- ・ 1 年 生 単元「たしざん」
- ・ 授 業 者：上田 貞子 教諭（江別市立江別第二小学校）
- ・ 本時の目標：被加数分解で、1 位数 + 1 位数で繰り上がりのある加法計算ができる。

本時の様子

過程	学習の流れ（◎発問 ○活動 ・子どもの反応）	留意点
つかむ	◎本時の問題を把握する。 ◎仲間分けをしましょう。 ○計算カードを分けて提示していく。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① グループ(和が10以下)</p> <p style="text-align: center;">$2 + 3$ $6 + 2$ $4 + 5$</p> <p>② グループ(和が11以上で被加数が加数よりも大きい)</p> <p style="text-align: center;">$9 + 5$ $8 + 4$ $9 + 3$</p> </div>	
みとおす	◎先生は、どのように分けていると思いますか。 ・こたえが10より大きいか、どうかだ。 ○仲間分けのきまりを確認する。 ○グループ分けをさせる。 ◎では、この計算は、どうでしょうか。	
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>④ $3 + 8$</p> </div>	
かんがえる	◎どうして、このカードは時間がかかりましたか。 ・だって3を10にするためには・・・。 ◎本時の課題を把握する。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>④ どのように けいさんしますか。</p> </div>	
つたえあう	◎ペアで交流し、全体で確認する。 ・今までのカードは前の方が大きいよ。 ○自力解決に取り組む。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">C 友だちの考えを聞いて、見通しをもつ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">B ブロックを使って考えさせる。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">A 自分の考えを説明する。</div>
	<p>・8を7と1に分けて、3と7で10をつくる。そして1と合わせて、11。(加数分解)</p> <p>・3を1と2に分けて、8に2をあげて10をつくる。そして1と合わせて、11。(被加数分解)</p> <p>○全体で交流する。 ◎今までと違うのはどちらですか。 ・前の数を分けた方。 ◎では、後ろを10にする計算のしかたを式とサクランボの図でかいてみましょう。 ○ノートに書き、確認する。 ◎今日の勉強で分かったことは何かな。」</p>	
まとめる	◎今日	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">C 友だちの考えを聞いたり、尋ねたりする。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">D 多様な考えを比較したり、検討したりする。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">B 適用問題に取り組む。</div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>④ 10のまとまりをつくって、けいさんする。</p> </div>	
ひろげる	○適用問題①を解く。 ○サクランボの図を完成させ、計算する。 ○②～④の問題もサクランボの図をかき、計算する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>技 被加数分解で、1 位数 + 1 位数で繰り上がりのある加法計算をしている。</p> </div>

② 授業分科会での協議内容

- ・ 教科書とは内容を入れ替え、先に被加数分解をきちんと学習する形にしたことについて。
- ・ サクランボの図について。

③ 成果と課題

- ・ 子どもの実態を考慮して、先に「 $3 + 8$ 」の計算に取り組んだことについて。
 - 加数分解、被加数分解のどちらかを選ばせる内容の部分ではあるが、選ぶためにもしっかりとその基礎を教えることが必要なので、今回の形でよかった。
 - 加数分解、被加数分解のどちらでもよいとすると、最後まで問題ができなかった可能性がある。
 - ▲教科書どおり「 $7 + 9$ 」だと、多様な考えを引き出すことができ、考えを深めることができる。
 - ▲適用問題「 $4 + 9$ 」のとき、数が小さいから4を分けた方が簡単だということが定着していなかった子もいた。
- ・ サクランボの図について。
 - 今後ブロックなしで問題を解かせるためにも、かかせることは有効である。また、授業中はしっかりと確認する必要があったので、適宜説明を加えていった。
 - ▲サクランボを説明するよりも、適用問題を増やした方がよかったのではないか。
- ・ その他について。
 - ブロックを被加数は白、加数はオレンジと色分けして使っていたのはよかった。
 - 自力解決の場面で、特に指示がなくても隣の子と話し合っていたのは素晴らしかった。

(文責 阿部 敏明)

